

2008



GAME PREVIEW

JUFA
 Kansai

2008年度 第37回 関西学生サッカー選手権大会 決勝トーナメント 開幕！！

今年度からのリーグ通年制に伴い、「関西学生サッカー選手権大会」は、4月に2部3部の予選を行い、その上位2チームずつと、1部12チームの合計16チームで決勝トーナメントが開催されることになった。
 現在行われているリーグ戦は1部は第9節、2部3部は第6節までを終了し、1・2部はリーグを中断して本トーナメントが開催される。リーグ戦の勢いや、結果の影響はあるだろうが、トーナメントは一発勝負。現上位チームが優位なわけではない！
 16チームのいずれにも総理大臣杯(7月6日～12日開催)への出場の可能性があるだけに、熱い戦いになることは必至！！
 頂点に立つのはどのチームか、また全国への切符を手にするのはどの3チームか・・・
 いよいよ開幕の決勝トーナメントから目が離せない！！

1回戦 5月25日(日)

大阪学院大学(千里山G)

第1試合 11:40 Kick off
阪南大 vs 京産大

リーグ戦では唯一負無しで現在2位の阪南大。須佐徹太郎監督は6連勝を飾った第9節終了後、「このところの練習がきつかったかな。疲れが抜けきれず、ボランチの出来も悪かった・・・。」と好調ながらもそうコメント。1回戦の相手はリーグ戦では連勝に入る前の第3節に対戦し1-1で引き分けた京産大。「粘り強く戦う以外にない。相手の2トップ、右サイドは足があるので、押し込まれないように注意して戦う。セットプレーも警戒しておかないと。」と気を緩めない。勢いに乗る阪南大が今度は勝利をつかむか。

逆に、京産大はリーグ第3節以降、勝星が無い。馬場悠企主将は、「今、引き分けを挟み3節からずっと負けている。どこかで立て直さないといけない。」とリーグを振り返る。「とりあえずシュートを打つことだが、その過程も大事。どこかキッカケがほしい。」とも馬場。「今まではリーグだから甘えがあったかもしれないが、次は一発勝負。一発という強さが京産にはあると思っているので、勝ちたい。」と、このトーナメントに懸ける。

コメント取材: 阪南大(関西学連)・京産大(フリーライター 久住 真穂)

第2試合 14:00 Kick off
大院大 vs 大阪大

リーグ戦では第9節、関学大相手にロスタイムの失点で勝ちを奪われ、現在8位の大院大。馬場悠主将は、「一番の敗因は引き分けにもっていきなかったこと。相手の蹴るサッカーにあわせてしまった。もっと落ち着いてやりたい。」と、いつもの自分たちのサッカーができていなかったことを振り返った。トーナメント緒戦の相手は3部2位の大阪大。「1部とやるときと変わらず、2部・3部関係なく、パスをまわして崩して、目の前の相手を倒せるようにやっていきたい。(馬場)」

相手の大阪大は3部予選を2位で勝ち上がってきた。山脇久監督は「厳しい日程というよりもシーズンのチームを作る段階で選手を揃えていくという点で難しかった。」と予選を振り返る。摂南大との決勝では、開始8分にGKが退場になる苦しい展開ながらも延長戦までもつれ込む接戦を演じた。「選手権は1年を考えると節目にもなるし、トップチームの感性を感じるうえでもいい機会。当る以上はいい試合をしたい。」とも山脇監督。まずは緒戦、相手のチームにドキッとさせるプレーをさせられるか。

コメント取材: 大院大(フリーライター 久住 真穂)／文: 大阪大(関西学連J)

同志社大学(京田辺G)

第1試合 11:40 Kick off
同大 vs 大教大

リーグ戦、第6節で一度は首位に躍り出るも、ここ3試合勝ちが無く現在4位で、攻守にやや手詰まり感のある現状のまま、選手権に突入する同大。今期は、先制されると脆さが露になる部分があるため、攻めで先手を取る事が勝ち抜くための絶対条件となる。MF⑧大森一樹は、「バリエーションを増やして、研究して来る相手を上回りたい。」と抱負を述べた。イメージネーション多彩な同大攻撃陣が全国への扉をこじ開けるか。

第9節、阪南大に競り負け、現在リーグ11位の大教大。入口豊監督は、「いい感じで前半からゲームを進められた。前半のチャンスにシュートを打てていれば・・・。」と試合を振り返る。いよいよ開幕の選手権に対しては、「同大戦を含めて、トーナメントは苦手を感じないゾーンだし、何とか勝ち進みたい。」と特別な気負いは無い。まずは守りを固めて少ないチャンスを生かす大教サッカーで初戦突破を狙う。

文: 同大(サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)／コメント取材: 大教大(関西学連)

第2試合 14:00 Kick off
大産大 vs 関学大

2部1位で勝ちあがった大産大。佐藤慶明監督は今年からの予選方式を「予選での戦い方は一つのものさし。リーグとは違う戦術も考え臨み、1位という結果は光栄。」と語った。リーグ戦では現在ブロック首位。「チームの状態は順調。受身になるかもしれないが、90分通してどれぐらい出来るか。」と選手権を前に楽しみな様子。「世界的に見てもリーグ戦とカップ戦を戦いぬけるチームが最強」とも語る佐藤監督。本年度からの改革にも満足な様子。通年制初年度の今年、リーグも好調に、そしてこのトーナメントでも結果が残せるか。

対する関学大は現在リーグでは5位。接戦を繰り返しながらも僅差の試合では競り勝ってきた。小関佑典主将は、第9節でもロスタイムの1点で競り勝った後、「今日の勝利はうれしいです。やってくれた。」としながらも、「決断力がある。勝ちきれないチームならないといけない。」と振り返った。「トーナメントの戦い方を考えて、勝つことが重要。」とも小関。「次は相手に合わせるのではなく、こちらから仕掛けていきたい。」との言葉通り、選手権を勝ちあがれるか。

文: 大産大(関西学連J)／コメント取材: 関学大(フリーライター 久住 真穂)


☆準決勝、決勝戦開催日には下記のイベントを実施！！

- 企画1. ご来場の方にもれなく景品をプレゼント！(先着50名様)～マンダムより提供～
- 企画2. 第2試合のハーフタイムにお楽しみ抽選会を実施！(各10名様)～ミカサボール・マンダムより提供～
- 企画3. 優勝チームサインボールをプレゼント！(1名様)

みなさま、ぜひ会場でご声援ください！！ 2回戦は5月28日(水)長居第2、西京極にて14:40、17:00 Kick off！
 準決勝(6月1日)、決勝戦開催日(6月7日)は有料で開催されます。前売り券は2回戦の会場で販売いたします。

後援: NHK大阪放送局／協賛: 株式会社ミカサ・大塚製薬株式会社・株式会社日本エスコン／協力: 株式会社マンダム

*5月13日付で「株式会社日本エスコン」様と協賛契約を締結いたしました。

桃山学院大学（和泉G）

第1試合 11:40 Kick off

立命大 vs びわこ大

リーグ第9節で、チームの士気が上がる逆転勝ちをした立命大。選手権に向けて選手たちも意欲的で、苦しい時の白星がいかに特効薬になるかを現していた。しかし、選手権では難しい相手が続く。DF 28 前野貴徳も「相手の事をしっかり知った上で戦いたい。」と慎重さを失わない。挑戦者として、選手権に挑む立命大は、他校にとって戦い難い相手になるだろう。

対するびわこ大は現在リーグ首位。第9節でも関西大との頂上決戦を制した。松田保監督は、「関西大のDFのウラを突く作戦だったが、攻めもよくない、DFもよくない。粘り勝ちかな。」と勝ちながらも厳しい表情。「トーナメント、緒戦の相手は立命大だが、力の差もないし、苦手意識もないが、攻守に粘り強くやるしかない。守りをキチッとするのが先決。」とも松田監督。「⑬平野、②船津、25 篠部に加え、下級生らの頑張りにも期待。」とのコメント通り、個々の選手たちの活躍にも期待だ。

文：立命大（サッカーライター ハヤシヒロヒサ）／コメント取材：びわこ大（関西学連）

第2試合 14:00 Kick off

桃山大 vs 大体大

リーグ戦では現在11位の桃山大。選手権で鍵になるのは、桃山大らしい攻撃が出せるかどうかだろう。「持ち味としているのはサイド攻撃。（松本直也監督）」であり、リーグ戦でもこだわりを見せていた。手数を掛けて、敵の両サイドを崩すパターンが連続すれば、自然と勝利に近付くだろう。相手も間違いなく対策を立てて来る中、自分たちを信じて戦う意識が桃山大躍進には不可欠だ。

対するのは2部2位の大体大。坂本康博総監督は、「手ごたえがあったのは最後まで。」と2部予選を振り返る。リーグは現在1分け有りのブロック首位。実習などでメンバーが固定できない状況があるようだが、選手の意気込みは強い様子。「2部で試合をしているのでこれぐらいでいいだろうと思っていいゲームが出来ていない。1部は9節も終わって揉まれているだろうし、そのギャップをどう埋めるか。」とも坂本総監督。全国につながる大会だけに、レベルの高いところでの試合をめざし、決勝トーナメントに臨む。

文：桃山大（サッカーライター ハヤシヒロヒサ）・大体大（関西学連J）

関西大学（千里山G）

第1試合 11:40 Kick off

近畿大 vs 姫獨大

リーグ戦で白星の積み重ねに苦労する近畿大。田中幸雄監督は、システムの変更や選手の入れ替えによる状況打破も視野に入れてはいたものの、リスクを伴うカンフル剤をトーナメントで使うかは、ギリギリまで分からない。MF⑩平原研は、「トーナメントはまず結果。勝ちの味を覚える事がリーグ戦にも好影響を与える。」と結果にこだわる姿勢を強調。近畿大は、泥臭くとも、白星を拾えるか。

第8節、第9節のリーグ2連勝で選手権に望む姫獨大。昌子力監督は、第9節の京産大戦を振り返り、「（今日の結果は）今までにないパターン。得点も良い形で特に2点目が良い。」と満足そうなコメント。緒戦の相手は第4節で0-2の近畿大。「モチベーションをどうするか。勝った後こそ大事。自分たちのサッカーをするというのは簡単なことではないけど、選手たちには頑張ってもらいたい。」と、前回の敗戦への気負いは無い。リーグも選手権も試合という点では同じ。一試合一試合を大事にする気持ちで、まずは緒戦に挑む。

文：近畿大（サッカーライター ハヤシヒロヒサ）／コメント取材：姫獨大（フリーライター 久住 真穂）

第2試合 14:00 Kick off

摂南大 vs 関西大

3部予選を1位で通過し、3年ぶりの出場となった摂南大。現在リーグ戦では6節を終了して首位と勝点で並びブロック2位と好調。「結果は出ているが内容はあまり良くない。」とは渡部聡主将。「摂南大のサッカーはパスサッカーで、しっかりとポゼッションする事。チーム的には精神面で弱い部分と、入替戦などで勝てない勝負弱さがあったが、改善してきている。」とも渡部主将。「緒戦の相手は強豪だが3部だからしょうがないと思わせる試合をするつもりもない。もちろん勝つために戦うが、勝敗以上にこれからの摂南サッカー部が強くなれる、いいきっかけになってほしいと思っている。（渡部）」

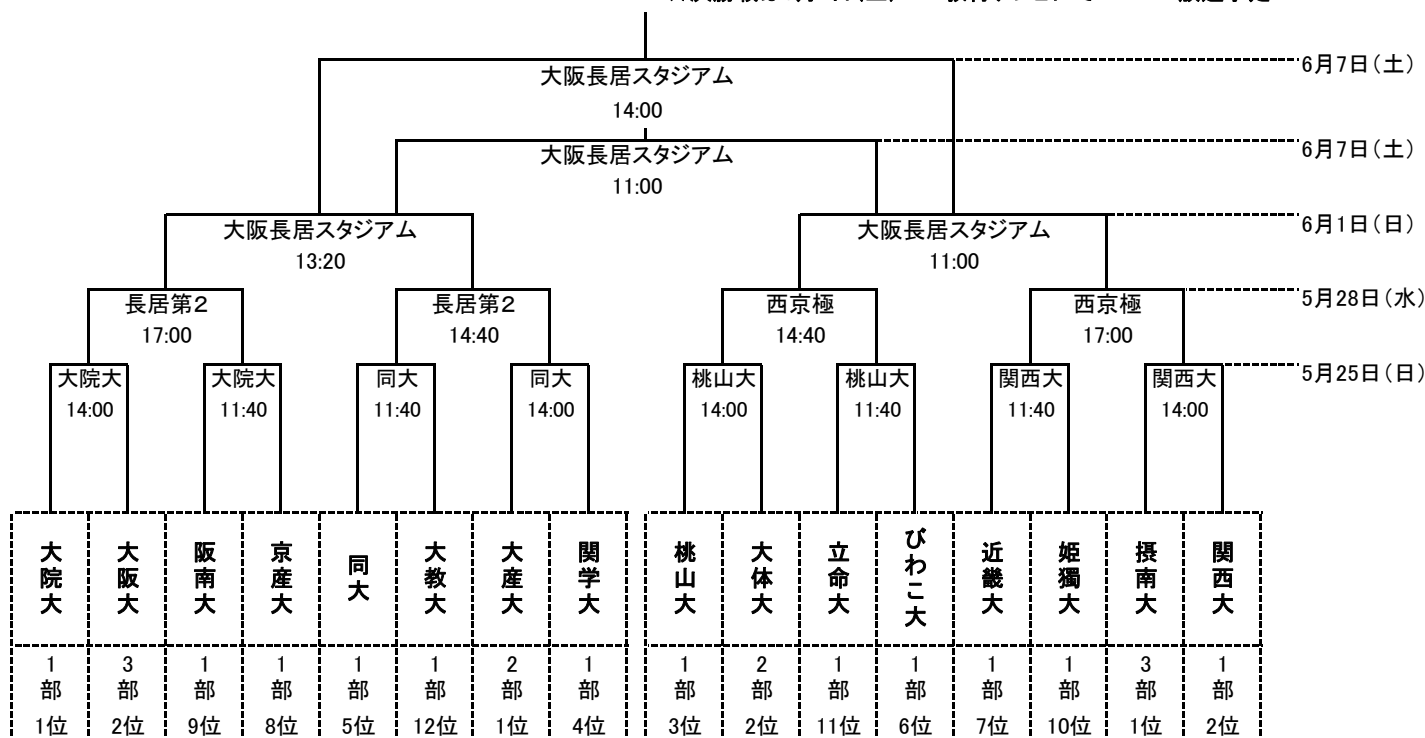
第9節、びわこ大に競り負け、首位を明け渡した関西大。「びわこ大はしたたかだったし、強かった。一生懸命さに差があったように思う。」と川端秀和監督。「摂南大は全く知らないチーム。初心に還って戦う以外にない。（9節で）負けたことは、リーグも中断するし、トーナメントに逆にいいかもしれない。」とも川端監督。気持ちを切り替え、まずは緒戦、チーム一丸となって戦う。

コメント取材：摂南大（関西学連U）・関西大（関西学連）

■レイアウト等作成 ■関西学生サッカー連盟

2008年度 第37回 関西学生サッカー選手権大会 決勝トーナメント 組み合わせ

☆決勝戦は6月7日（土）NHK教育テレビにて14:00～放送予定



※1部リーグの順位は「2008年度 第86回 関西学生サッカーリーグ（前期）」開幕時点の順位。2・3部リーグは予選トーナメントの結果により確定。